

# 制服について

風紀委員長 二年

伊藤梨亜菜

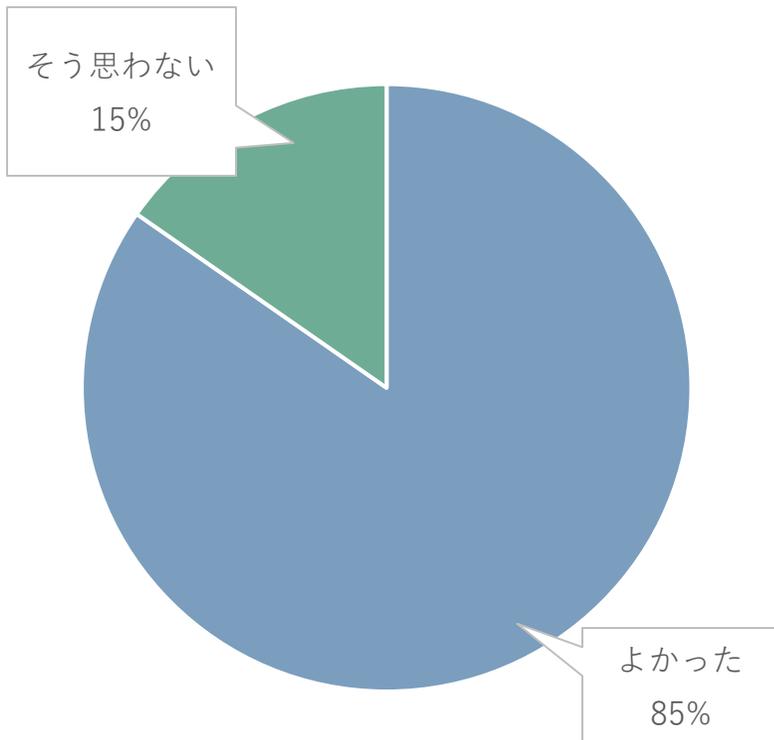
# アンケートの目的

海棠祭期間とその後の1週間で、「スクールカジュアルウィーク」が行われました。(8/28～9/8)

- ・ TPOに則した学校での服装であるということを第一に考えたものとする。
- ・ この期間も制服の着用は、通常通り可とする
- ・ 他校の制服は禁止とする
- ・ 将来、自分自身が場に応じた服装を選択できる視点を養う機会とする。

風紀委員会として、9月下旬に全校生徒にアンケートを実施しました。アンケートを通し、生徒の生の声を先生方や外部の方にもお伝えし、よりよい学校づくりをしていきたいと考えています。

# Q1, スクールカジュアルウィークをしてよかった



実施人数  
144名

■ よかった ■ そう思わない

## ◆目的

今回初めての試みである、「スクールカジュアルウィーク」について、どう感じているのか

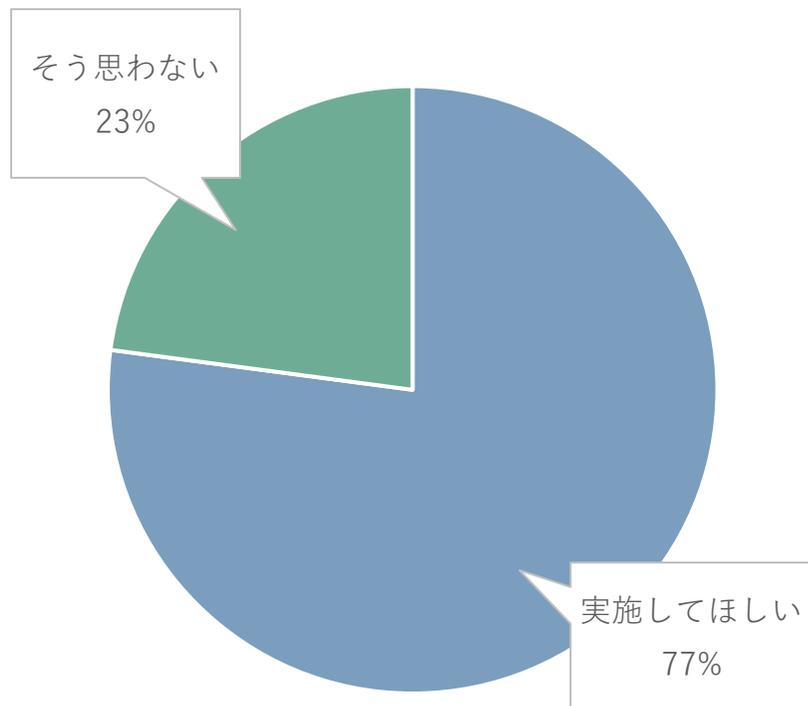
## ◆結果

● 「よかった」 → 84.7% (122名)

● 「そう思わない」 → 15.3% (22名)

8割以上の生徒が  
実施してよかったと回答している。

# Q2,年間のうち期間を設けて (冬バージョン)も開催してほしい



実施人数 ■ 実施してほしい ■ そう思わない  
144名

## ◆目的

今回初めての試みである、「スクールカジュアルウィーク」について、どう感じているのか(Q1同様)

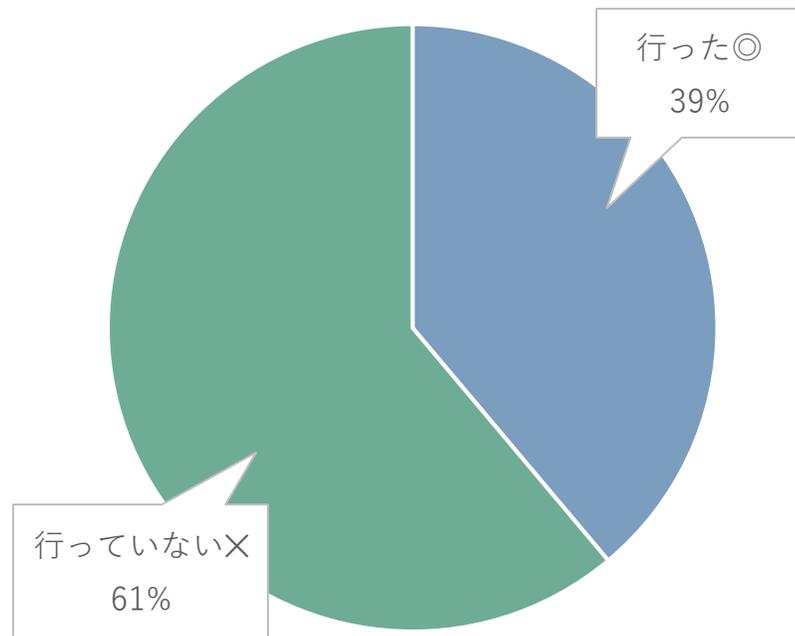
## ◆結果

● 「実施してほしい」 → 77.1% (111名)

● 「そう思わない」 → 23% (33名)

7割以上の生徒がカジュアルウィークを、再度実施してほしいと回答している。

# Q3, スクールカジュアルウィーク期間中に 服装を変えたり、アレンジを行った



実施人数 144名  
■ 行った◎ ■ 行っていない×

## ◆目的

どのくらいの生徒がスクールカジュアルウィークに取り組んだのか

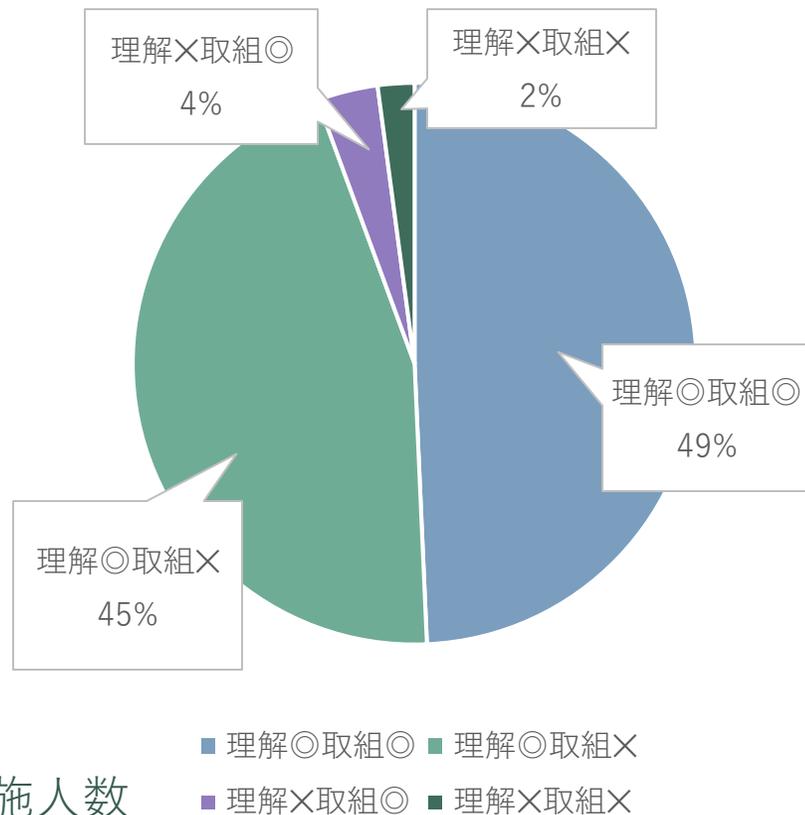
## ◆結果

● 「行った」 → 38.9% (56名)

● 「行っていない」 → 61.1% (88名)

実際に制服以外の服装で登校した生徒は4割に満たなかった。

# Q4, スクールカジュアルウィークの ルールについて



実施人数  
144名

## ◆目的

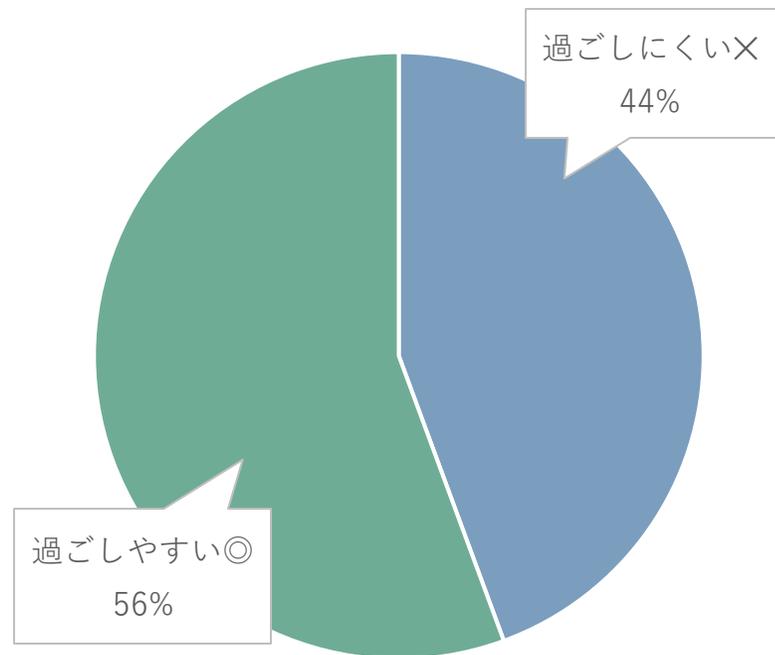
説明が足りていたかどうか

## ◆結果

- 「理解しており取り組んだ」 → 49.3% (71名)
- 「理解していたが取り組まなかった」 → 45.1% (65名)
- 「理解せず取り組んだ」 → 3.5% (5名)
- 「理解しておらず取り組まなかった」 → 2.1% (3名)

9割以上の生徒がルールについて理解しており、説明が行き届いていたと考察できる。

# Q5,今の制服が過ごしやすいと感じているか (スカートの丈・サイズ変化・生地)



実施人数 ■ 過ごしにくい× ■ 過ごしやすい◎  
144名

## ◆目的

生徒が今の制服に対して感じていることを知る

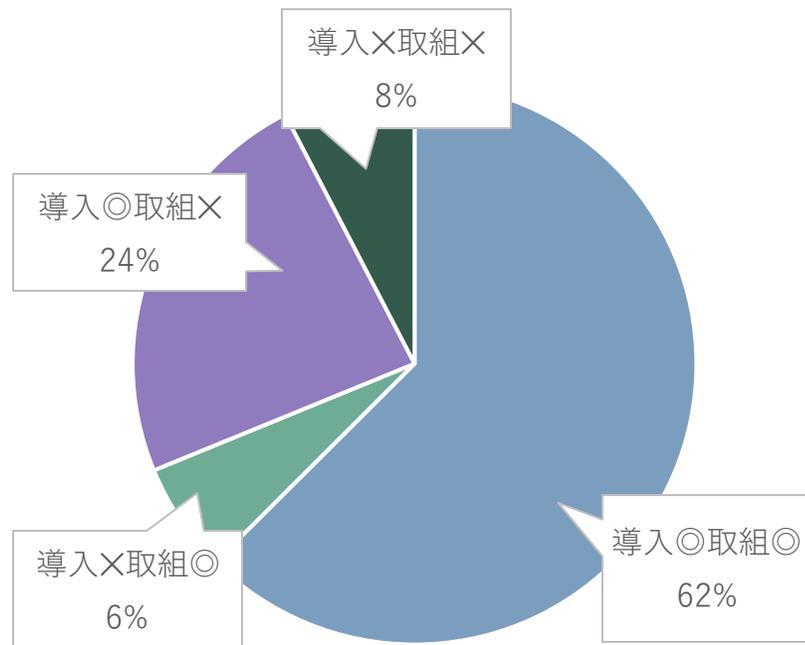
## ◆結果

● 「過ごしにくい」 → 44.4% (64名)

● 「過ごしやすい」 → 55.6% (80名)

4割以上の生徒が、  
現在の制服が過ごしにくいと回答している。

# Q6,全国的に私服が導入されてきていることについてどう感じるか



■ 導入◎取組◎ ■ 導入×取組◎  
■ 導入◎取組× ■ 導入×取組×

実施人数  
144名

## ◆目的

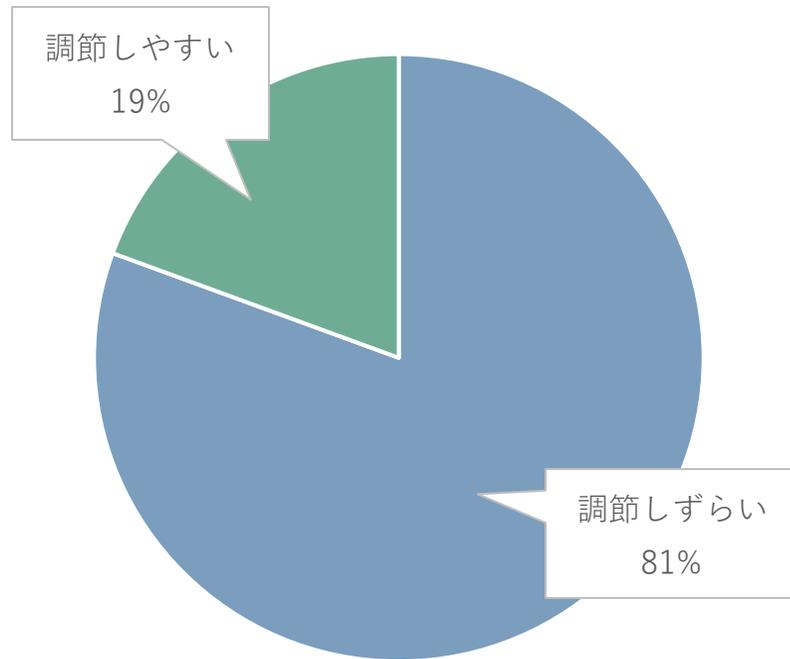
全国的に制服の必要性が見直されてきていることについてどう感じるのかを知る

## ◆結果

- 「導入の流れにのり本校も取り組む」 → 62.5% (90名)
- 「制服であるべきだが取り組む」 → 6.3% (9名)
- 「私服もいいが取り組まない」 → 23.6% (34名)
- 「制服であるべきなので取り組まない」 → 7.6% (11名)

約7割の生徒が私服の活用を本校でも実施した方がいいと回答している。

# Q7,今の制服は体温調節しずらいか (女子の合服・半袖、セーター登校不可など現在の校則も含め)



実施人数 144名  
■ 調節しずらい ■ 調節しやすい

## ◆目的

女子の合服と半袖の違い、セーター登校不可についてどう感じるか

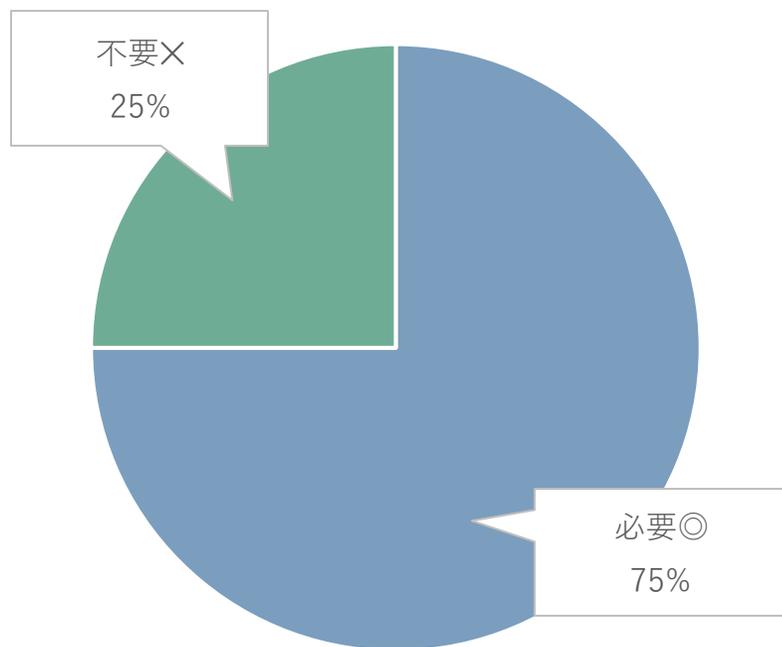
## ◆結果

● 「調節しずらい」 → 80.6% (116名)

● 「調節しやすい」 → 19.4% (28名)

8割以上の生徒が、現在の制服は体温調節しずらいと回答している。

# Q8,メイクや髪の設定・スーツの着こなしの特別授業があったほうがいいのか(将来的に常識の範囲)



実施人数  
144名

■ 必要◎ ■ 不要×

## ◆目的

TPOに則した着こなしや身だしなみについて、生徒の関心状態を知る。

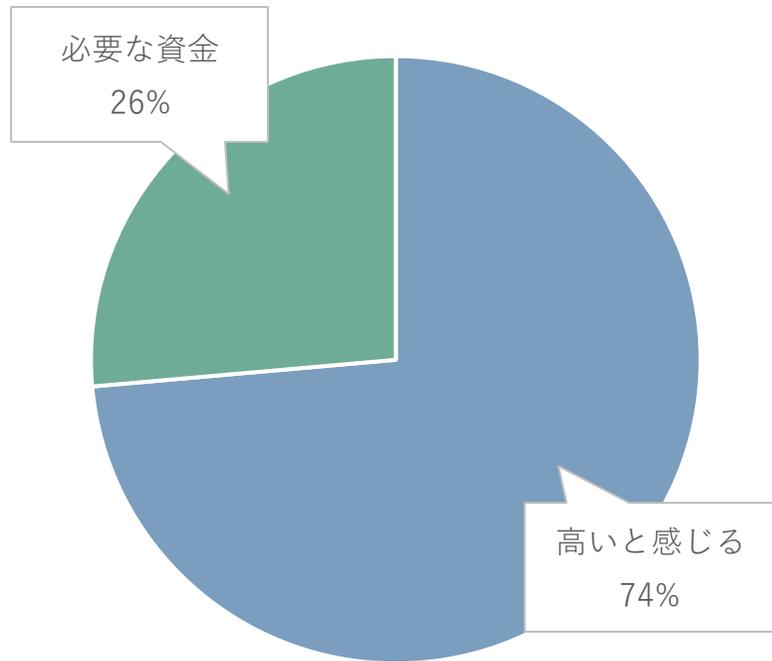
## ◆結果

● 「必要◎」 → 75% (108名)

● 「不要×」 → 25% (36名)

実際に、3年生の宅習期間(2月)に実施しているが回数を増やす・実施期間を早める・化粧やヘアセットについての講義も加える などの検討をする

# Q9,制服を購入するのは高いと感じる



実施人数 144名

■ 高いと感じる ■ 必要な資金

## ◆目的

制服の値段に対する考えを知る

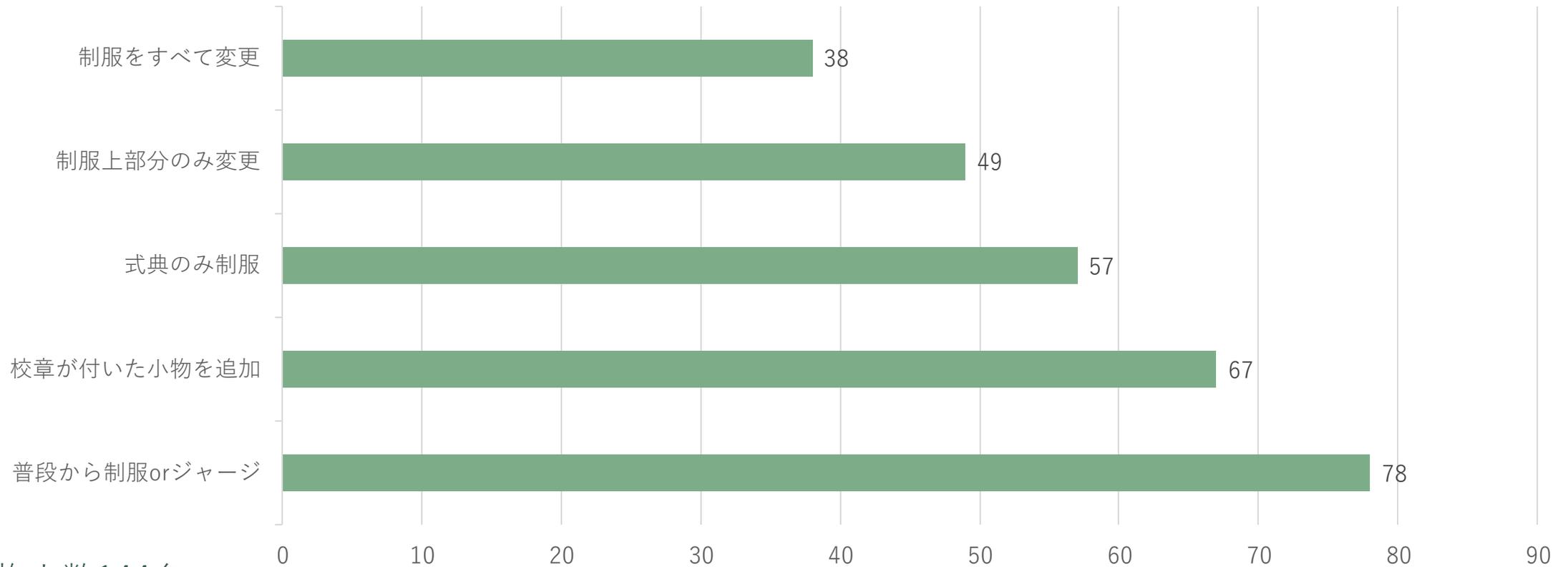
## ◆結果

● 「高いと感じる」 → 73.6% (106名)

● 「必要な資金である」 → 26.4% (38名)

7割以上の生徒が、制服が高いと回答している。

# Q10,いいと思う項目にチェック (複数回答可)



実施人数144名

## Q11,その他、生徒からの感想

◇海棠祭期間に行ったことにより一般客と生徒の見分けがつかなくなっていた。私服登校の場合、学校に不審者が入ってきたとしても見分けがつかぬのか心配。白いTシャツと黒ズボンなどとしっかり規定が設けられていればいいと思った。

◇周りの高校と変わったことができるので本校を志望する生徒が増えると感じた。

◇私服を着るならば、服装の手本を見せるべき。カジュアルウィーク期間中に、スカートの丈が短かったり、ジーパンだったりとこれでいいのかなと不信感を抱いた場面があった。そして、服装だけでなく、髪型も自由に行っている生徒がいたため、ルールをしっかりと確認するべき。

# Q11,その他、生徒からの意見①

## 【制服全体】

- ◇制服は体温調節がしにくく、私服の方が勝手もよく個性が出る
- ◇生地などにあまり規制をかけない。大学のようになればいいと思う。制服を希望する生徒は今のままでいいと思う。
- ◇制服は破れたり破損した際に高いので買い替えるのが大変である。
- ◇暑いと思ったときや寒いと思ったときにすぐに服が着れない
- ◇都会との差があると感じる。

## 【ニット】

- ◇セーター、ベストの値段が高価であるのに対し、物持ちが悪い。
- ◇夏服でもベストを着れるようにしてほしい。
- ◇合服でのベスト着用が体温調節しづらい。
- ◇なぜセーター登校がダメなのかわからない。

## Q11,その他、生徒からの意見②

### 【ブラウス】

- ◇男子のYシャツを市販のものでも良いようにしてほしい
- ◇女子の丸襟が洗練されていない。丸は女性という固定概念が古いと感じる。
- ◇朝のアイロンがけが大変である。

### 【スカート・ズボン】

- ◇スカートの丈を夏は短く、冬は現在同様にしたい。夏はスカートを短くすることを可としてほしい。
- ◇女子のスカートを夏・冬、別にしてほしい。またスカートの長さも膝上でもokにしてほしい。 リボンありにしてほしい。

### 【校則】

- ◇部活動の服を着てもいいことにしてほしい。
- ◇式典は制服にすると良いと思う。それ以外は自由が良い。

## アンケート結果を受けて

「制服」について、様々な意見や考え方があったことがわかりました。単に制服をなくすとかではなく、その良さも活かした服装の検討が必要です。また、TPOに則した着こなしを知ることも大切です。今回の「スクールカジュアルウィーク」は生徒が服装容儀や、着こなしについて考えるよい機会となりました。今後も、「スクールカジュアルウィーク」を設定し、模範となる服装や、色などについて協議することが大切です。

## 最後に

制服の必要性やLGBTQに対応した服装が問われる時代を迎えています。個性を表現することや、共通性(一般性)の大切さに視点を向けることも必要です。

風紀委員会や生徒会も、生徒1人1人の意見を聞きながら制服や校則についてさらに見直しをしていきます。

飯野高校生徒が主体となり、先生方や地域の関係者の皆様のお力を借りながら、今後もよりよい高校生活が送れる学校づくりをしていきます。

ご清聴ありがとうございました。